

西海建設 <sup>まつおか</sup>松岡 <sup>しんや</sup>慎弥さん(27)

=長崎市出身=

# 所長抜てき後進の道づくり

長崎市は「100年に一度」とされる大規模なまちづくりの真ただ中。あちこちでマンションや商業ビルの建設工事が進む。

西海建設(同市)に入り6年目、建築工事に所属。設

次代を拓く  
現場の若手たち

☆80



施工図通りに建設が進むよう職人に指示を出す松岡さん

||長崎市内

計事務所から受け取った大まかな図に、必要な材料や細かい寸法を書き込んだ施工図を作成する。それを基に、大工らに指示をする。さまざまに建物の着工から完成までを見届ける。通常は勤続10年ほどで任される現場トップ「所長」に、入社4年目で抜てきされた。経験したことがないエレベーター改修工事で不安になったが、上司や同僚に相談しながら無事に完工。「達成感と成長を感じた」と振り返る。

合科学大建築学部に入學。図面作成などの基礎知識を身に付けた。  
「地元で観光名所を作りたい」。そんな思いを抱いて、この会社を選んだ。「稲佐山スロープカーの駅舎やJR長崎駅周辺の施工に関わった時はうれしかった」と顔がほころぶ。11月からは長崎市内で、倉庫と事務所を解体し建て直す現場の所長を務めている。「初めて請負金額が億超え。頑張りたい」と意気込む。  
後輩も続々入社してきた。「若いうちから大きな仕事を任せてもらい活躍できるよう、若手の先例となる働き方をしたい」。建物だけでなく後進の「道」づくりにも奮闘している。

(荒木瑞姫)

随時掲載します